健康医療ナビ　なるほど！知っ得

お薬手帳の基礎講座

病気の治療方法はさまざまあるが、薬を使った治療は最も一般的で多くの人がその恩恵を受けている。中には、一緒に飲んではいけない組み合わせや、重い副作用の危険性のある薬もあり、服用に際しては専門家の関与が欠かせません。そこで、役に立つのが「お薬手帳」。茨城県薬剤師会の根本清美会長に、お薬手帳の役割について話を聞きました。

茨城県薬剤師会
根本 清美会長

お薬手帳とは？

医療機関で診察を受ける時や、薬局で調剤してもらう時に「お薬手帳をお持ちですか」と聞かれた経験は多いと思います。

お薬手帳は、服用中の薬の名前、用法・用量、その他注意することなどを記録する手帳で、薬局で発行してもらえます。病気やケガで医療機関にかかるときや、薬局で調剤を受けるときに、この手帳を提示すれば今まで使用してきた薬の内容を医師や薬剤師に正確に伝えることができます。

それによって、作用の重なる薬や、飲み合わせの悪い薬がないかどうかなどをチェックしてもらうことができます。特に、複数の医療機関にかかる場合や、同時に一般用医薬品やサプリメントを使っている場合などは必ず医師や薬剤師に提示するようにしましょう。

お薬手帳には、飲んでいる全ての薬を記録することが大切です。薬局で調剤した薬は薬剤師が記録してくれますが、自分自身でアレルギー歴や病気の既往歴、服用中のサプリメントなどについて書いておけば、さらに有効に活用することができます。

災害時にも有効活用

薬の記録はかかりつけの医療機関や薬局で管理してもらっているから「大丈夫」という人も多いと思います。もちろん、医療機関では処方した薬について、薬局では調剤した薬について、患者さん一人ひとりの情報を記録してくれています。しかし、災害などでかかりつけの医療機関や薬局に連絡が取れない場合、初めて受診する医療機関で今まで服用している薬の名前や使用方法を正確に伝えることができるでしょうか。そんなときこそ、お薬手帳が活躍します。

東日本大震災の際には、お薬手帳が大変役に立ちました。福島県に住む多くの住民が避難を余儀なくされた原発事故。急いで避難したために、いつも飲んでいる薬を自宅に残してきてしまったという声をよく聞きました。お薬手帳を持って避難したが、お薬手帳を持って避難された人は、避難先の医療機関でもスムーズに同様の薬を処方してもらうことができました。

お薬手帳は一冊に

お薬手帳はどこの医療機関や薬局にかかったときにも、必ず提示する習慣を付けることが大切です。何冊も手帳を持っていてはその役割をきちんと果たすことができませんので、必ず一冊にまとめるようにしましょう。「新しくお薬手帳を作りたい」、「複数あるお薬手帳を一冊にまとめたい」という人は、気軽に薬局で相談してください。お薬手帳を活用して、上手に薬と付き合っていきましょう。

ー お薬手帳に記載する内容の例 ー

最初のページに記載する内容

- ＊ 氏名
- ＊ 生年月日
- ＊ 電話番号
- ＊ 食べ物のアレルギー歴
- ＊ 薬のアレルギー歴
- ＊ 副作用歴
- ＊ 既往歴

調剤を受けるたびに記載する内容

- ＊ 調剤年月日
- ＊ 薬剤名
- ＊ 用法・用量
- ＊ 注意事項

その他

- ＊ 服用している一般用医薬品
- ＊ 服用している健康食品

薬に関すること ご相談ください。私たちは皆様の健康をサポートします

地域社会から愛され、必要とされ、信頼されるグループを目指して
かかりつけ薬剤師 | 在宅医療 | セルフメディケーション
お薬のことは何でもご相談ください

今川医療福祉グループ
イマガワフューチャー株式会社
IMAGAWA 今川薬局
土浦店 ☎029-869-6677
取手井野店 ☎0297-85-2216
つくば手代木店 ☎029-893-5711

地域の皆さまの健康を願います
薬のことならいつでもご相談ください
根本薬局
みどり野店 牛久市南 2-24-14 ☎029-871-7182
南店 牛久市南 4-38-13 ☎029-871-1030
ひたち野店 牛久市ひたち野東 5-3-2 ☎029-871-8172